

# 環研センターnews

第10号

11月20日

## 「食」と「農」と「環境」と ～「食と環境教育」交流会開催



米沢市立関小学校  
校長 廣谷 春樹 氏



水土里ネットいなば  
総務課長 佐藤 友二 氏



南陽市環境浄化をすすめる会  
会長 菊地 ウメ子 氏

11月20日、環境科学センターを会場に、農業県山形の特徴を生かして、「食」と「農」の体験活動などを通して「環境」を考えよう！と『食と環境教育』交流会を開催しました。

米沢市立関小学校の廣谷校長からは、

*食と農に関する体験学習や環境美化・保護活動への取組*

関地区の良さを発見し、見直し、ふるさと創世の手がかりが得られるように。  
*交流や連携を深める*

P T A や地域の方々を講師に迎える、収穫の喜びを分かち合う。全校活動を多く設定し、全校の交流も深まるように。

水土里ネットいなばの佐藤総務課長からは、

*地域を知る・農業を知る*

地元対象の農村環境活動と非農家対象の農村農業体験(田んぼの学校)実施。  
*調整池や水路を使って親水と同時に危険性を教え、安全意識の啓発に取組よりよい農業環境を子供たちとともに考え未来に引き継ぐために*

活動に積極的に参加する子供たちを評価する「いなば子供未来クリエイター認定資格制度」を創設。「こども立寄所」として子供たちの学習を受け入れ。

*活動に必要なこと*

楽しいこと 安全に配慮できること 目的意識の確立

南陽市環境浄化をすすめる会の菊地会長からは、

*「生ごみは土にかえそう」*

生ごみの堆肥化に取組。「堆肥を作っても土がない」の声を聞き、会と子供会、町内有志の力で「親子菜園」活動開始。家庭で作った堆肥で野菜を作る「自産自消」。



グループ交流会風景

## 環境実験講座 水の汚れを考えよう

11月13日

11月13日に行われた環境実験講座では～水の汚れを考えよう～をテーマに、子どもたちが川の水、台所の水(みそ汁、米のとぎ汁など)のpHやCODについて調べました。水をきれいにろ過するための装置を作り実験したり、また水の大切さや川をきれいにするためにどうすればよいかを話し合ったりしました。

みそ汁のCODはきれいな川の水の300倍だよ!



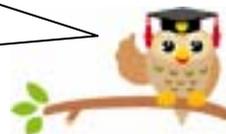
ろ過装置を通したら水がきれいになったよ。



CODってなに??

COD(シーオーデー) = 化学的酸素要求量

水の汚れを表すものの一つで、有機物による汚れを表し、数字が大きいほど汚れがひどくなります。魚が快適に住める川のCODは1～5mg/Lといわれています。ちなみに・・・今回の測定の結果、大沢川下流は4mg/L、上流は2mg/L、白水川は1mg/Lでした。



## 環境企画展 食と環境教育 ~総合的な学習の時間等における取組~

前号で6校を紹介しました。今回は以下の6校の取り組みについて紹介します！

休み 土日祝  
12/29~1/3



17年1月7日まで当センター環境情報棟にて展示中です。

12月4(土)・18(土)9時~16時まで開館しております。ぜひお越しください。

### 酒田市立琢成小学校

地域で栽培されている餅米「酒田女鶴」の栽培を中心に活動を行いました。土に触れたり、生産者と交流の場を持ったり、自分たちが育てた米で餅をついて食べたりと、直接体験を大切にしながら学習を進めました。「育てる」ことから「食する」まで一連の流れを理解し、子どもたちの食に対する意識も高まりました。



### 村山市立西郷小学校

学年ごとに畑や田んぼで、農作物を育てました。地域の方を田んぼ・畑の先生として招くなど、地域の方々との交流もふかまりました。栽培活動を通して、作る楽しさや苦労、収穫の喜びを感じた子どもたち。農業を営む家族や地域の方への感謝の気持ちも持つようになり、心の成長も見られました。



### 遊佐町立西遊佐小学校

平成9年度から野菜を中心に栽培活動をしてきた西遊佐小。今年度、子どもたちから「自分たちの手で本気で野菜作りがしたい!」と声があがり、無農薬の大豆作りに取り組みました。一生懸命汗を流して働き、助け合いながら作り収穫した大豆。納豆に加工し給食で食したり、地域の方に販売したりしました。また個人で大豆に関して研究を深め「大豆辞典」も完成させました。



### 戸沢村立古口小学校

さといも、古代米などの栽培に取り組みました。さといもは苗から栽培し収穫する、という一連の農作業のほか、自分たちだけの創作いも煮も考え、学校の友達や地域の方にふるまいました。子どもたちは土の感触を味わいながら喜んで働き、給食の残菜や除草した草から堆肥作りにも意欲的に取り組みました。



### 上山市立山元小中学校

地域の産業であるわらび採り、野菜・なめこの栽培などに取り組みました。また小学校で古代米、中学校で五穀を栽培し、それをブレンド「山元げんき米」を作りました。活動を通して勤労の大切さ、収穫の喜びに気づき、ふるさと山元にたいする愛着や誇りも持つようになりました。



### 南陽市立梨郷小学校

各学年ごとに子どもたちの願いを生かしながら、農作物の栽培(ファーム活動)に取り組みました。地元の農家の方を先生として招き、地域との交流・連携も図られました。子どもたちは様々な食農体験を通して、農作物を育てる喜びや楽しさ、自然のふしぎさや大切をあらためて感じていました。



## ほっとNEWS

### イバラトミヨサミット

豊かな山形県でも近年「生態系の劣化現象」が見られるように...!

最上地方の現状を眺めながら、イバラトミヨを通して今後の保全のあり方を考えます。

日時: 12月19日(日) 13:00~

場所: 最上広域交流センター「ゆめりあ」 **参加無料**

申込・問い合わせ 0237-52-3124

**手作りキャンドル教室** キャンドルナイトに向けて、廃食油をリサイクルして使うキャンドル作りを体験してみませんか。

(日時) 12/11(土)午前9:30~11:00 (場所) 山形県環境科学研究センター (対象) 小学生の親子(それ以外は応相談) (参加費) 1組につき500円 (アドバイザー) 東北芸術工科大学生のみなさん (特別ゲスト) 塩原未知子先生(灯りのアーティスト) (申込み) 先着40名。12月10日正午締切。

詳しくは申込受付時に説明します。【連絡先】

NPO法人環境ネットやまがた (山形県温暖化センター)

(電話)0237-52-3320 (E mail)eny@chive.ocn.ne.jp



## 環境す・語録

小さなことを確実に  
こなしていく、積み重ねていくことが本当の  
環境活動です。そして  
継続することです。

山形大学教授 國方敬司氏

ISO14001 更新登録をした東根市で  
開催された第1回環境シンポジウム  
にて、「地域版環境 ISO」推進に向けた  
パネルディスカッションでの一言。